

# MUSEUM NEWS

2020.10 ▶ 2020.11

## MEDE SUWARU — 今日みられる椅子

とき・9/26(土)～11/3(火・祝)

ところ・2階展示室B、1階ギャラリー

観覧料・無料

内容・埼玉県立近代美術館は「椅子の美術館」としても知られています。開館当初から国内外の優れたデザインの椅子を収集し、館内各所で展示してきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、現在、座れる椅子の展示を制限しています。「MEDE SUWARU—今日みられる椅子」でも、残念ながら、展示している椅子に座ったり触れたりすることはできません。その代わりに、色々な角度からじっくり見て、どんな座り心地だと思える？どんなかたちをしている？あなたならどこに置きたい？など、椅子からの問いかけに心を傾け、座った感じを想像してみてください。



アルヴァ・アールト  
《パイミオ/アームチェア 41》  
デザイン:1930-31年/  
製品化:1932年

《パイミオ》はフィンランドの建築家、アルヴァ・アールトがデザインした椅子です。まずはかたちを見てみましょう。背もたれから座面までは、ゆるやかに曲げられた一枚の合板が使われています。座面ではなく足元と背の部分で脚部が支えられる構造は、宙に浮いているような軽やかさも生み出しています。また、アールト自身が設計したサナトリウム(結核患者の療養施設)のためにデザインされたこの椅子には、スチールのような素材ではなく、温かみのあるフィンランドの木材が用いられています。この椅子を置くことで、どのような空間がうまれるのでしょうか。

椅子の魅力を味わうヒントとして、2階展示室では、「素材」、「かたち」、「色」、「大きさ」というテーマでコレクションの椅子を紹介しています。いずれも椅子のデザインを構成する基本要素で、デザインの歴史や技術の進化、デザイナーのアイデアにも深く関わっています。また、1階ギャラリーでも「めでる」というテーマで多彩な椅子を紹介しています。「目で座る」ことで椅子の置かれる空間や座る感覚を自由に想像しながら、暮らしに身近な存在でもある椅子を、心で「めでる」ことをお楽しみください。(S.H.)



ペーター・オプスヴィック  
《ガーデン:リトル・ツリー》  
デザイン・製品化:1985年

## 上田 薫

とき・11/14(土・県民の日)～1/11(月・祝)

ところ・2階展示室

内容・上田薫(1928～)は、殻からつるりと落ちる生玉子、スプーンから流れ落ちそうなジャム、水の流れや空など、一瞬で姿を変えるものを清新な描写で捉えます。リアリズム絵画のなかに独自の位置を占めるその画業を、大学卒業後から現在までの作品、約80点をたどりませ。

観覧料・一般1100円(880円)、大高生880円(710円)

※ ( )内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。



上田薫《アカンサスC》2016年

## MOMAS コレクション (収蔵品展)

2020年度 第2期

とき・7/18(土)～10/18(日)/ところ・1階展示室

観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)

※ ( )内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。

◇セレクトション

ジョルジュ・ルオー《横向きのピエロ》ほか、MOMASコレクションの名品を紹介します。

◇異界/異形のコスモロジー

もうひとつの世界なのか、それとも現実なのか。異界/異形と芸術表現の関係を探ります。



ポール・シニャック《アニメールの河岸》1885年

2020年度 第3期

とき・10/24(土)～2/7(日)/ところ・1階展示室

※ 会期中一部作品の展示替えがあります。

前期:10/24(土)～12/13(日)、後期:12/15(火)～2/7(日)

観覧料・第2期の観覧料と同一です。

◇セレクトション

マルク・シャガール《二つの花束》ほか、MOMASコレクションの名品を紹介します。

◇花鳥を描く

日本画を中心に花鳥をモチーフとした作品をご紹介します。

《関連イベント》

○サンデートーク

10月の実施を中止します。

11月以降の実施は未定です。

※ 11月以降の実施について、詳しくはホームページをご覧ください。

## アーティスト・プロジェクト #2.05 スクリプカリウ落合安奈

### Blessing beyond the borders—越境する祝福—

とき・10/24(土)～2/7(日)

ところ・1階展示室ほか

内容・ある時代を生きた無名の人々、あるいは土地が引き継ぐ記憶や文化に焦点を当て、重層的なイメージをもつ作品を構築するアーティスト、スクリプカリウ落合安奈。アーティスト・プロジェクト#2.05では、各地のフィールドワークにもとづいた最新のインスタレーションを発表します。

観覧料・MOMASコレクション観覧料が必要です。

アート体感ワークショップ

## MOMAS のとびら

10月の実施を中止します。

11月以降の実施は未定です。

※ 11月以降の実施について、詳しくはホームページをご覧ください。

## 一般展示室 (地階)

※ 日程・内容は変更される場合があります。

※ 展示により開室時間(特に最終日の終了時刻)が異なります。

◆9/29(火)～10/4(日)

一般社団法人公募 ZEN 展……………一般展示室 1

22th BANSEI EXHIBITION (畑晩菁個展) ……一般展示室 4

◆10/6(火)～10/11(日)

第32回溪水会展……………一般展示室 4

◆10/13(火)～10/18(日)

第21回地平展……………一般展示室 1

結(ゆかり)～浦和一女漫画同好会 OG 展……………一般展示室 3

絵描き文鳥やまゆりの絵画展……………一般展示室 4

◆10/20(火)～10/25(日)

第41回太平洋埼玉展……………一般展示室 1

第36回アート現宇展……………一般展示室 3

全日写連浦和支部写真展……………一般展示室 4

◆10/27(火)～11/1(日)

西遊会美術展……………一般展示室 4

◆11/3(火)～11/15(日)

2020CAF ネビュラ展……………一般展示室 1～4

◆11/18(水)～11/22(日)

令和2年度第59回埼玉県高等学校書道展覧会……………一般展示室 1～4

◆11/24(火)～11/29(日)

第63回埼玉県高校美術展……………一般展示室 1～4

MOMAS コレクション第3期

## 花鳥を描く



山村耕花《雀跳瞬間》1933年(後期展示)

鮮やかな青い山桐の葉が茂るなか、画面左側の雀が頭を屈めて中央を向いています。視線の先にはいままきに羽を広げて飛び行く蝉が一匹。《雀跳瞬間》は、蝉を捕らえようと飛び立つ瞬間の雀を描いた作品で、雀や蝉の細やかな描写、そして背景の白と葉の青という色彩の明瞭な対比が印象的です。

本コーナーでは、このように四季折々の花や、小さく愛らしい鳥など「花鳥」をテーマとした作品をご紹介します。

見た目に美しい花や鳥は、その造形や色合い、性質などに縁起の良さが見いだされ、祝祭や慶事を飾るにふさわしい主題として描かれてきました。四季の花やつがいの鳥が画面全体に描かれた豪華な作品、《花鳥図》も婚礼などの祝賀の場のために制作されたものかもしれません。



橋本雅邦《花鳥図》(部分)(前期展示)

こうした華やかなイメージの一方で、野花や野鳥のような、日常的に目にするのできる身近な存在は、画技の修練のため写生の対象として数多く描かれました。小村雪岱や小茂田青樹の写生画(後期展示)にその一例が見られます。また、独自の動植物文様を創作した彫金家、増田三男は、身近な自然から学ぶことを信条に、自宅の庭の草花や訪れる鳥を丹念に写生し、90代まで制作を続けました。たとえ老いや病気によって遠方への取材が叶わないときでも、または戦時下のように制限された環境においても、花鳥は最も描きやすい題材のひとつであったと言えます。



増田三男《金彩壺 展》1998年(後期展示)

作品に描かれた花や鳥には、「伝統的画題」、「吉祥図像」、「日常における身近なモチーフ」など様々な要素が備わっています。今回はこうした花鳥の多彩さを、前期・後期に分けてご紹介いたします。華やかに、あるいは慎ましく描かれた花や鳥の魅力コレクションを通してご堪能いただければ幸いです。(K.M.)



## ミュージアム・ショップおすすめ商品

今回ご紹介する商品は、「はみだしてもいいぬりえ」です。ラフに塗るためのかわいらしい絵で、ぬりえが初めてという幼児からラフな作品に仕上げたい大人まで楽しんでいただける新しいコンセプトのぬりえブックです。一緒に販売中の蛍光くれよんで塗ると、下絵が透けて、はみだした部分の効果で優しい雰囲気仕上がりになります。(N.M.)



はみだしてもいいぬりえ ¥500(税別)  
蛍光くれよん 5色入り ¥900(税別)  
10色入り ¥1,800(税別)

zocalozocalozo 編集後記 zocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozo

上田薫展は、コロナ禍のなか、予定通りに開催可能となった企画展です。事物の一端をリアルに描く絵画のなかに、皆さんはどんな世界を読み取るのでしょうか?(H.I.)

「MEDE SUWARU—今日みられる椅子」展は、なんと「観覧無料」で開催します!フラットとお気軽に来館いただければ嬉しいです。(M.H.)

zocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozo



所在地・〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1  
TEL・048-824-0111 FAX・048-824-0119 URL・https://pref.spec.ed.jp/momas/  
代表メール・p240111@pref.saitama.lg.jp  
開館時間・10:00～17:30(展示室への入場は17:00まで)  
休館日・月曜日(10/23は開館) 入館料・無料 観覧料・上記をご覧ください。

交通・JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩3分(北浦和公園内)。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅まで、それぞれ約35分。  
※当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館」では、駐車料金の割引があります(企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き)。団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたしますが、台数に限りがありますので予めご了承ください。

